

和泉下整第2114号
令和02年01月28日

国土交通大臣 殿

和泉市長



社会資本総合整備計画について

「社会資本整備総合交付金に係る計画等について」第1第1項に基づき、別添のとおり社会資本総合整備計画を取りまとめたので提出する。

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年01月28日

計画の名称	和泉市における安全で快適な生活環境づくり(その3)												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	和泉市												
計画の目標	下水道整備により、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	240	A	240	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R2当初	中間目標値 R4末	最終目標値 R6末
1	下水道による都市浸水達成率を49.0%(R2当初見込み)から49.1%(R6末)に増加させる。 下水道による都市浸水達成率 浸水対策完了済み面積(ha)/浸水対策を実施すべき面積(ha)	49%	49%	49%
2	対象施設について、ストックマネジメント計画に基づいた点検・調査を実施する。 ストックマネジメント計画に基づいた点検・調査実施率 点検・調査を実施した管渠延長(m)/点検・調査を実施すべき管渠延長(m)	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
[都市浸水達成率](令和2年当初)49.0%、(令和6年度末)49.1%[ストックマネジメント計画に基づいた点検・調査実施率は令和3年度を当初とした4カ年の計画である](令和3年当初)0%、(令和6年度末)100%												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	和泉市	直接	和泉市	管渠（ 雨水）	新設	北部処理区 雨水管渠整 備事業	雨水管 300～1350mm、L=500 m、設計	和泉市						180	-	
	下水道ストックマネジメント計画																		
	A07-002	下水道	一般	和泉市	直接	和泉市	-	改築	ストックマネジメント計 画策定及び策定に伴う調 査等	ストックマネジメント計画策 定及び策定に係る調査等 L= 約645km	和泉市						20	策定中	
	下水道ストックマネジメント計画																		
A07-003	下水道	一般	和泉市	直接	和泉市	-	改築	和泉市公共下水道改築事 業	ストックマネジメント計画に 基づく点検・調査、設計、改 築・更新	和泉市							40	策定中	
下水道ストックマネジメント計画																			
											小計						240		
											合計						240		

事前評価チェックシート

計画の名称： 和泉市における安全で快適な生活環境づくり（その3）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて事業の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 2) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 継続的な事業の展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04		
配分額 (a)	41	20	3		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	41	20	3		
前年度からの繰越額 (d)	0	16	8		
支払済額 (e)	25	28	8		
翌年度繰越額 (f)	16	8	3		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					